

動物実験に関する現況調査票

産業医科大学

2026 年 4 月

I. 動物実験に関する組織

機関長	職名： 学長 氏名： 堀江 正知		
事務担当者	大学事務部研究支援課課長 氏名：高崎 諭子		
同 連絡先	TEL:093-280-0532	FAX:093-691-7518	e-mail kenkyushien@mbox.pub.u oeh-u.ac.jp
動物実験委員会	職 名	氏 名	要件*
委員長	医学部 教授	高橋 富美	①
委 員	医学部 教授	矢寺 和博	①
委 員	医学部 教授	佐藤 寛晃	①
委 員	医学部 教授	森 誠之	③
委 員	産業生態科学研究所 教授	東 秀憲	①
委 員	教育研究支援施設 准教授	川田 耕司	②
委 員	産業保健学部 講師	田中 晋	①
外部委員	東邦大学 医学部 講師	藤澤 千恵	②

委員の数に応じて、表の行を増やしてください。

動物実験委員会の要件欄*には基本指針で定められた以下の委員構成の番号を記入して下さい。

該当がない場合には空欄にしておいてください。

- ① 動物実験等に関して優れた識見を有する者
- ② 実験動物に関して優れた識見を有する者
- ③ その他、学識経験を有する者

II. 機関における動物実験の概要

1. 動物実験を行う主たる研究分野

- ☒ 医歯薬学分野
 ☐ 畜産・獣医学分野
☐ 生物科学分野
 ☐ 理工学分野
☐ その他（ ）

2. 年度ごとに使用・飼養した実験動物の種類と概数

動物種	3 年度		4 年度		5 年度		6 年度		7 年度	
	使用数	飼養数	使用数	飼養数	使用数	飼養数	使用数	飼養数	使用数	飼養数
マウス	15,923	5,476	17,520	5,257	20,641	5,650	16,874	4,789	14,839	4,700
ラット	3,739	1,163	2,252	1,078	2,005	764	1,301	313	2,280	455
ウサギ	3	2	0	0	3	1	0	0	1	0
モルモット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ハムスター	134	10	79	7	36	5	46	3	44	0
コットンラット	110	24	110	24	141	24	152	41	131	41

(令和 8 年 3 月 31 日 現在)

3. 年度ごとの承認された動物実験計画数

動物実験計画数	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	1 8 8 件	1 9 8 件	1 8 5 件	1 6 9 件	1 6 3 件

当該年度に実施が承認されている動物実験計画数を記入してください。() 内は当該年度に学長承認された動物実験計画数を記入してください。

4. 年度ごとの動物実験に関する教育訓練の受講者数

教育訓練受講者数	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	1 8 2 人	1 6 6 人	1 8 2 人	1 8 2 人	2 1 2 人

*実験動物を用いた実習等のために、学生に対して行った教育訓練の受講者数も含めて記入してください。

5. 実験動物飼養保管施設(施設)の現況

施設を持つ部局数： 3 部局	施設の総延べ床面積**：
施設の総数： 3 箇所	☐ なし ☐ 100 m ² 未満
	☐ 100 以上 300 m ² 未満 ☒ 300 m ² 以上

** いずれかにチェックを入れてください。

施設の名称	管理者の職・氏名	実験動物管理者の職・氏名 (関連資格・経験年数)	動物種	最大飼養頭数 (概数)
教育研究支援 施設動物研究 センター	教授・佐藤 寛晃	准教授・川田 耕司 (実験動物医学専門医、獣 医師、博士(獣医学)6年)	マウス ラット ハムスター モルモット ウサギ	31,750 2,592 216 90 30
教育研究支援 施設アイソト ープ研究セン ター動物飼育 室	教授・青木 隆敏	教授・馬田 敏幸 (医学博士、23年)	マウス ラット ハムスター モルモット	1,080 120 96 30
産業生態科学 研究所吸入曝 露室	教授・上野 晋	教授・東 秀憲 (工学博士、6年)	マウス ラット	300 240

数に応じて、表の行を増やしてください。

施設の所在地

所在地	施設の名称
福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1	教育研究支援施設動物研究センター
同上	教育研究支援施設アイソトープ研究センター動物飼育室
同上	産業生態科学研究所吸入曝露室

数に応じて、表の行を増やしてください。

飼養保管施設のあるキャンパスの主な所在地を記入ください。

飼養保管施設は、管理者及び実験動物管理者による一体化した管理体制の下で、実験動物の飼養及び保管等を行う施設であり、一般的には動物飼育室の他、器具洗浄等の管理区域、実験処置室等を含みます。したがって、個々の動物飼育室を指すものではありませんが、全ての動物飼育室は、実験動物飼養保管施設に所属していなければなりません。一体化した管理体制による実験動物飼養保管施設であれば、同一敷地内の異なる場所にある動物飼育室を含むこともあり得ます。なお、哺乳類、鳥類、爬虫類以外の動物の飼養保管施設はこの場合の数に含まれません。

6. 動物実験に関する情報公開

当該情報の公開場所 (URL) :

<https://www.uoeh-u.ac.jp/industryCo/kenkyu/jikken.html>

7. 国立大学法人動物実験施設協議会又は公私立大学実験動物施設協議会入会の有無

☐ 国立大学法人動物実験施設協議会会員

☒ 公私立大学実験動物施設協議会会員 (会員番号 : 12-096)

☐ その他(上記の会員ではない)

公私立大学実験動物施設協議会会員の場合は会員番号を記入ください。

8. 自己点検・評価報告書の作成に際して自己点検・評価事項チェック票での確認

URL: <http://www.m-kenshou.org/>

☒ 行った

9. 特記事項

(動物実験に関連した、機関の特徴や特殊事情)

本学の組織は、医学部、産業保健学部、大学院医学研究科、産業生態科学研究所、教育研究支援施設 (図書館、共同利用研究センター、動物研究センター、アイソトープ研究センター)、産業医科大学病院、産業医科大学若松病院、産業医実務研修センター、国際センター、男女共同参画推進センター、保健センター、情報管理センター、産業保健データサイエンスセンター、ストレ

ス関連疾患予防センター、IR 推進センター、高年齢労働者産業保健研究センター、医学教育改革推進センター、産学連携・知的財産本部および進路指導部から構成されている。このうち実験動物飼養保管施設は、教育研究支援施設動物研究センター、アイソトープ研究センター動物飼育室および産業生態科学研究所吸入曝露室である。主たる動物実験は動物研究センターで行われている。アイソトープ研究センター動物飼育室および産業生態科学研究所吸入曝露室は、産業医学研究に不可欠な動物実験設備であり、本学の特徴ある研究設備の一つである。